

子ども部会の報告 (平成 27 年 5 月～6 月)

1 目的

障がいの程度・内容にあった教育・療育の機会を図るとともに、サポートブックの活用等について検討する。

2 委員

春日井こども学園（児童発達支援センター）、第一希望の家（児童発達支援事業所）、キッズ・あいびい～（放課後等デイサービス）、子どもの家、こんぱす（指定特定相談支援事業所）、障がい者生活支援センターあつとわん、尾張北部圏域地域アドバイザー（オブザーバーとして）
【事務局】障がい福祉課、基幹相談支援センターしゃきょう

3 開催日（毎月第 3 木曜日 9:30～）

第 1 回	5 月 13 日	地域自立支援協議会について 子ども部会の発足の経緯について 今後の取り組み、スケジュールについて
第 2 回	6 月 18 日	今後のスケジュールについて 資源調査項目について 今後の取り組みについて

※第 2 回以降、第 3 木曜日 9:30～実施予定とする。

4 検討内容

春日井市内の障がい児支援を行う事業所の実態把握及び事業を行う上で抱えている悩み事等を把握するために資源調査を実施する。

資源調査について

【目的】①各事業所の実態把握する

②事業を行う上で抱えている悩みごとについて調査し、地域課題を抽出する

【対象】市内の児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業、日中一時支援事業等

1 つ目の目的である事業所の実態把握の調査項目は、事業所の形態、日課内容、サービス提供日時、利用している子どもの人数の把握等の基本事項である。

2 つ目の目的である事業を行う上での悩み事等の調査項目は、事業を行う上で気を付けていることや関心のある内容、他機関との連携の有無、障がい児支援における意見・要望等の詳細事項である。

対象については、障がい福祉課から調査依頼ができる福祉サービス事業所から行うことになった。

5 今後の取り組み

- ・資源表の作成および資源調査を集約し、より具体的な地域課題の抽出
- ・資源調査のフィードバック会及び各事業所の情報交換会の実施
- ・他市の取り組みについて、先進地域の視察を実施

資源調査の成果として、資源表の作成や各事業所の悩み等が集約され、より具体的な地域課題が把握できるのではないかと。また、春日井市全体の共通の地域課題を通して、横のネットワークの構築に繋がるとよいと考えている。